



染黒竹 (ぼかし入り)

染黒竹

染黒竹

雪隠竹

真竹晒竹

本煤竹

天然サビ竹

黒竹

竹六商店

滋賀県東近江市福堂町3488

tel 0748-45-0231

http://www.takeroku.co.jp/

取扱商品：銘竹、加工竹、座敷すだれ、神社仏閣用御簾、軒すだれ、インテリアすだれ、簾戸、プランツボード、竹内装材、茶室一式など

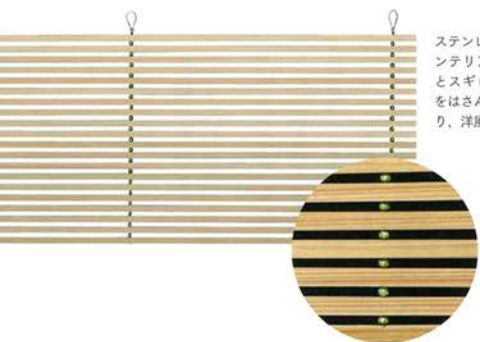
すだれの材料：竹、藪、蒲芯、代用萩、柳、木(ヒノキ、スギ)、プラ竹

社屋の倉庫にはさまざまな銘竹や加工竹が揃っている。こうしたものを使ったすだれもオーダー可能。おもしろいものができるそうだ。

銘竹専門店のすだれ

良質な竹の産地である近江で、大正6年に青竹の卸からはじまった企業。各種の銘竹を扱い、竹製のさまざまな内装材も製造している。特に、「虫が食う」「カビやすい」「割れる」という竹の3大欠点を解決するため、真空加圧式の防虫処理、抗菌・防カビ処理、丸竹への発泡ウレタン注入など、現代的な技術を取り入れているのが特色だ。すだれは基本的に受注生産。軒すだれ、インテリアすだれ、座敷すだれ、御簾のほか、簾戸、天井材用の簾も取り扱っている。

軒すだれの素材は多様だ。掛ける場所の雰囲気に合わせて選ぶことができる。藪では、近くの円山地域でわずかに採れる最高級品の大神藪、茶室や侘びた建物に合う皮付き藪、中国産の磨藪、天津藪、蒲芯、代用萩、炭化柳、竹もそれぞれに味わい深い。どれも防カビ処理済みだ。インテリアすだれでは、ヒノキまたはスギのストラットの間にビーズをはさんだものが独特。幅1800ミリまで製作可能な竹の丸ひごすだれはカラーオーダーもできる。近隣地域では夏は屋内にすだれを掛ける家が多いそうだ。伝統に即した座敷すだれも得意分野である。



ステンレスワイヤーを通したインテリアすだれ。ヒノキ(左)とスギ(円内)がある。ビーズをはさんですき間をつくっており、洋風の室内にも合う。



生地竹ひご

左/竹の身の部分を使った丸ひごのすだれはシンプルな表情が魅力。生地竹ひごと炭化竹ひごがある。下右/本煤竹の竹ひごで編んだ未加工の藪。節の部分を少しずつずらして山型の模様をつくと、同時に織の跡の白い部分も同様の模様になる。すだれやパーティション、天井材などに自由に使える。下左/軒すだれ。本煤女竹はステンレスワイヤーを通した。炭化天津藪は燻して古色をつけた。大神藪は茎の色の濃淡が美しい。

炭化竹ひご



炭化天津藪

本煤女竹

大神藪



本煤竹